

令和5年度 事業報告

I 事業の総括

本会は令和5年度において、1 生涯スポーツ社会の実現、2 競技力の向上、3 次代の健全育成という三つの基本方針の下、加盟団体及び関係機関、団体と連携協力し、公益4事業、収益2事業及び本会運営事業を積極的に推進した。新型コロナウイルス感染症の5類移行もあり、各種事業においてコロナ禍前と概ね同様の規模等による事業展開をすることができた。また、本会が令和7年2月に創立100周年を迎えることから、記念事業の準備を進めた。

公益1：生涯スポーツ振興事業では、総合型地域スポーツクラブに関する諸事業を通じてスポーツの魅力を発信するとともに、一般社団法人彩の国SCネットワークと連携し、総合型地域スポーツクラブの活動内容や経営安定の充実に努めた。

また、令和5年度は、「総合型地域スポーツクラブ登録、認証制度」、SC全国ネットワーク（総合型地域スポーツクラブ全国協議会）に新たに28クラブが登録認定された。

公益2：競技力向上事業では、「彩の国アスリート強化5か年計画」として新たな中期計画を策定し、「天皇杯、皇后杯ともに常に第3位以上」を達成するため、「特別国民体育大会燃ゆる感動かごしま国体」では、オール埼玉体制をより強固なものとし、目標の実現に向け、諸事業に取り組んだ。

公益3：スポーツ少年団事業では、11年ぶりに埼玉県スポーツ少年団大会を埼玉県立名栗げんきプラザで開催し、多くの団員が参加した。コロナ禍以降、団員同士の交流の機会が減っていたが、徐々に交流事業は増えてきた。埼玉県スポーツ少年団各種事業も例年通り実施することができた。

公益4：スポーツ総合センター運営事業では、料金改定に伴い収入は回復したものの、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い期待された宿泊を含めた客足の戻りは鈍い状態が続いている。

収益1：大宮公園スポーツランドの運営では、ここ数年間で一番の収益を上げた前年度に比べると利用者が減っているが、春や秋のシーズンは多くの利用客で賑わった。しかし、屋外施設のため天候に左右されるため、特に夏の猛暑時は、客足が伸び悩んでいる。

収益2：埼玉アイスアリーナの管理運営では、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、コロナ禍前（平成30年度）と同水準にまで利用者数の回復が見込まれたが、スポーツ総合センター同様に客足の戻りは鈍い状況が続いている。このため、本会創立100周年記念事業のプレイベントを開催するなど利用者拡大に努めた。

II 事業報告

公益1 生涯スポーツ振興事業

1 総合型地域スポーツクラブの育成推進

埼玉県と連携、協力して、地域住民による自主的、主体的な総合型地域スポーツクラブの組織化を図るため次の業務を実施した。

(1) クラブアドバイザーの配置(1名)

総合型地域スポーツクラブの設立や活動及び事務、経理処理等クラブ運営全般について指導、助言ができる者を配置した。(日本スポーツ協会の有資格者等)

(2) 広域スポーツセンター機能推進業務

主に総合型地域スポーツクラブに興味を持ち、立ち上げようとしている人やスポーツクラブ等からの電話及び来所相談に対し専門的な助言を行うとともに、総合型地域スポーツクラブ等の要請に応じて会議等に参加し、専門的な助言を行うなどの業務を実施した。

ア 総合型地域スポーツクラブ等運営活動支援

(ア) 設立済市町村に対する訪問等による専門的助言

【事業内容】 設立済の市町村のスポーツ関係担当者等に対し、説明会や会議で、総合型地域スポーツクラブの意義や必要性等を説明した。併せて説明会の出席者等からクラブ設立に必要な情報を収集した。

【実施回数】 延べ8回(6市)

【実施会場】 加須市、毛呂山町、さいたま市、川口市、朝霞市、東松山市が定めた場所及びクラブが指定した会場

【参加者】 延べ12名(行政関係者及びクラブづくりに意欲のある者)

【経費】 受取参加料：無料 派遣等に係る費用：無料

(イ) 総合型地域スポーツクラブに対する訪問等による専門的助言

【事業内容】 クラブアドバイザーの指導、助言を経て設立した総合型地域スポーツクラブの活動状況や運営状況など現地ヒアリングを行い、一層の活性化を図るため指導、助言を行った。

【実施回数】 延べ14回

【実施会場】 各クラブのクラブハウスや公共施設等

【参加者】 延べ28名(クラブの運営に関わる者)

【経費】 受取参加料：無料 派遣等に係る費用：無料

(ウ) 総合型地域スポーツクラブを目指す団体に対する訪問等による専門的助言

【事業内容】 クラブアドバイザーがクラブ運営の指導、助言を行い、令和5年度は新たに1クラブが設立された。

・総合型地域スポーツクラブ carpe diem(毛呂山町)

【実施回数】 延べ8回(7クラブ)

【実施会場】 各クラブのクラブハウスや公共施設等

【参加者】延べ12名(クラブの運営に関わる者)

【経費】受取参加料：無料 派遣等に係る費用：無料

(エ)一般社団法人彩の国SCネットワークの活動支援

県内の総合型地域スポーツクラブ相互の連携及び親睦、情報交換を図ることで、地域スポーツの活性化及び生涯スポーツの振興に貢献することを目的に設置された一般社団法人彩の国SCネットワークに対し、運営における指導、助言を行った。

・総会の開催

【実施期日】令和5年6月18日(日)

【実施会場】スポーツ総合センター

【参加者】22クラブ24名

【経費】受取参加料：無料

イ クラブミーティング2023の開催

【実施期日】令和6年2月4日(水)

【実施会場】浦和コミュニティセンター

【参加者数】24クラブ24名

【経費】受取参加料：無料

(3)令和5年度地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業(地域のスポーツ環境基盤強化) 都道府県体育・スポーツ協会事業〔国庫補助事業〕

地域スポーツクラブと行政等が連携・協働し、スポーツを通じた地域課題の解決に向けた取組を促進することで、地域スポーツ環境の整備を図った。

ア 地域スポーツ推進団体連絡会議の開催

【実施期日】令和5年7月26日(日)、9月7日(木)、令和6年2月21日(水)

【実施会場】スポーツ総合センター

【参加者数】延べ28名(県内スポーツ団体関係者)

【経費】委員出席謝金・委員交通費・委員飲料代等

イ 地域スポーツクラブ指導者研修会の開催

【実施会場】スポーツ総合センター

【実施期日】令和5年11月22日(日)、11月29日(日)

【参加者数】延べ76名(地域スポーツクラブ指導者等)

【経費】受取参加料：無料 講師謝金・消耗品費等

ウ 「学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について考える」シンポジウムの開催

【実施期日】令和5年12月10日(日)

【実施会場】スポーツ総合センター

【参加者数】54名(地域スポーツクラブ関係者等)

【経費】受取参加料：無料 講師謝金・消耗品費等

(4)広報活動

ア 総合型地域スポーツクラブに関わる情報提供

【事業内容】総合型地域スポーツクラブの支援業務等で得た情報を基に、各クラ

ブの他、行政担当者やマスメディアなど随時情報提供を行った。

イ ホームページの掲載、更新

【事業内容】 総合型地域スポーツクラブの支援業務等で得た情報やクラブ作りのノウハウを本会ホームページに掲載、更新を行った。

2 市町村体育・スポーツ協会連絡会議の開催

【事業内容】 地域における生涯スポーツの振興を図るため、市町村体育協会・スポーツ協会との意見、情報交換を行うとともに、関係機関、関係者との連携を強化した。

【実施期日】 東部：令和5年6月23日(金) 14:00～
西部：令和5年6月20日(火) 14:00～
南部：令和5年6月28日(水) 14:00～
北部：令和5年6月19日(月) 14:00～

【実施会場・参加者】

東部：白岡市生涯学習センター	36名 (14市町)
西部：飯能市役所本庁舎別館	51名 (22市町村)
南部：草加市スポーツ健康都市記念体育館	29名 (13市町)
北部：深谷市公民館・深谷市生涯学習センター	21名 (11市町)

【経 費】 会場使用料、参加者飲み物代

3 日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会の開催

【事業内容】 県内各地域において、スポーツ教室等で指導をする人材を養成した。

- (1) コーチ2：専門科目は本県での開催はなし
- (2) コーチ2：共通科目は本県での開催はなし
- (3) コーチ1：専門科目5競技

ア バレーボール(委託事業)

【実施期間】 令和5年11月25日(土)、26日(日)、12月2日(土)

【参加者数】 47名

イ バドミントン(委託事業)

【実施期間】 令和5年10月14日(土)、15日(日)

【参加者数】 32名

ウ 空手道(委託事業)

【実施期間】 令和5年9月9日(土)、10月7日(土)・28日(土)
12月2日(土)

【参加者数】 43名

エ 卓球(独自事業)

【実施期間】 令和5年10月21日(土)、令和6年2月4日(日)

【参加者数】 33名

オ 山岳(独自事業)

【実施期間】 令和5年11月12(日)、18日(土)、19日(日)、
12月23日(土)、24日(日)

【参加者数】 11名

【受講対象】 原則として、指導員18歳以上。※競技毎で別に定める。

【経 費】 支払参加料(個人負担：全競技共通)

コーチ1 共通科目：日本スポーツ協会へ直接払い

専門科目：日本スポーツ協会へ取りまとめて支払

4 県民総合スポーツ大会及び埼玉県駅伝競走大会の開催

【事業内容】 埼玉県スポーツ推進計画が掲げる「スポーツがはぐくむ輝く埼玉」の実現に資するため、埼玉県、埼玉県教育委員会及び関係団体とともに実行委員会を設置し、企画、運営に参画し資金の提供を行った。

(1) 令和5年度第36回県民総合スポーツ大会の開催

【埼玉県実行委員会】

埼玉県、埼玉県教育委員会、公益財団法人埼玉県スポーツ協会、特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会、埼玉県スポーツ推進委員協議会、各市町村、各市町村教育委員会、各市町村体育、スポーツ協会、各市町村レクリエーション協会、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会

【実施時期】 令和5年4月1日から令和6年3月15日まで

【参加人数】

ア 競技部門 287大会 176,115名

本会加盟競技団体、県高等学校体育連盟大会、県中学校体育連盟大会、県高等学校野球連盟大会、県スポーツ少年団大会、県特別支援学校体育連盟大会、ふれあいピック大会、障害者スポーツ大会関係団体

イ コミュニティ部門 64大会 8,807名

ウ レクリエーション団体種目 120大会 7,034名

エ 県小体連地区スポーツ大会 98大会 100,790名

オ スポーツフェスティバル 3回 約3,000人

総計 572大会 大会参加者総数 295,746名

【経 費】 支払助成金：実行委員会経費の負担(150,000円)

(2) 埼玉県駅伝競走大会

【埼玉県駅伝競走大会実行委員会】

埼玉県、埼玉県教育委員会、公益財団法人埼玉県スポーツ協会、一般財団法人埼玉陸上競技協会、埼玉県学校体育協会、読売新聞東京本社さいたま支局、さいたま市、上尾市教育委員会、桶川市教育委員会、北本市教育委員会、鴻巣市、鴻巣市教育委員会、行田市教育委員会、熊谷市

ア 第5・6部(中学生：兼全国中学校駅伝大会予選)

【実施期日】 令和5年11月4日(土)

【実施会場】 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場及び特設周回コース

【参加者】5部 中学校男子 63 チーム(6区 18.26km)
6部 中学校女子 63 チーム(6区 12.26km)

イ 第1～4部

【実施期日】令和6年2月4日(日)

【実施会場】熊谷スポーツ文化公園陸上競技場(スタート：1部～3部/さいたま新都心駅前、4部/鴻巣駅東口付近)

【参加者】1部 一般男子 17 チーム(新都心-熊谷 7区 42.195km)
2部 市町村男子 23 チーム(新都心-熊谷 7区 42.195km)
3部 高校男子 35 チーム(新都心-熊谷 7区 42.195km)
4部 高校・一般女子 22 チーム(鴻巣-熊谷 5区 20.5km)
計 97 チーム

【経 費】支払助成金
実行委員会経費の負担(ア、イで2,000,000円)

5 「県民スポーツの日」及び「県民の日」への支援

- (1) 「県民スポーツの日」(6月第1日曜日)、「県民の日」(11月14日)、埼玉県スポーツ協会創立記念日(2月26日)にスポーツ総合センターのトレーニング場を無料開放した。
- (2) トレーニング相談を実施した。

6 スポーツ活動の支援事業の充実

(1) 国民体育大会実施競技団体スポーツ安全管理推進活動の実施

【事業内容】公益財団法人日本スポーツ協会国民体育大会参加者傷害補償制度の加入促進と安全意識の向上を図った。

(2) 秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会の支援

主催：秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会実行委員会(構成メンバー：一般社団法人埼玉県自転車競技連盟、埼玉県、埼玉県教育委員会)

【事業内容】昭和28年に秩父宮家から「秩父宮杯」を下賜され、令和5年度で71回目を迎える自転車道路競走大会で、ゆかりの地である秩父市で開催され、国内トップレベルの選手がエントリーする一般男子の部から中学生の部まで9の部門があり、592名の選手が参加した。

【実施期日】令和5年9月3日(日)

【実施会場】秩父市特設周回コース

【参加者数】

部 門	距 離	エントリー数	実走数
エリート	75.3km	121名	76名
高校生上級	75.3km	84名	26名
高校生初級	32.4km	70名	49名
一般上級	42.9km	60名	38名

一般中級	32.4km	45名	31名
一般初級	32.4km	67名	52名
マスターズ	32.4km	107名	83名
女子	10.8km	19名	18名
中学生	10.8km	19名	17名
9部門		592名	390名

【経 費】 支払負担金：なし

(3) スポーツ活動助成事業

【事業内容】 本会加盟団体等の指定寄付により、スポーツ団体の活性化を図った。

ア サイニチホールディングス杯第8回彩の国 Spring フィギュアスケート競技会

【実施期日】 令和5年5月3日(水)～5日(金)

【実施会場】 埼玉アイスアリーナ

【参加者数】 無級からシニア(6級以上) 計291名

※YouTube 動画配信あり

【経 費】 支払助成金 4,000,000円(一般寄付充当)

イ サイニチホールディングス杯埼玉県室内選手権水泳競技会

【実施期日】 令和6年2月23日(金)、25日(日)

【実施会場】 セントポールズ・アクアティックセンター

【参加者数】 小学2年生から一般(社会人) 計858名

※YouTube 動画配信あり

【経 費】 支払助成金 2,000,000円(一般寄付充当)

ウ スポーツ活動(環境整備)支援事業

【事業内容】 スポーツ活動に必要な競技用器具機材等の調達や活動する場所の確保などスポーツ環境の整備を行うことに助成した。

エ アイスホッケージュニア(中学生)育成事業(県アイスホッケー連盟協同事業)

【実施期間】 毎月第4日曜日 21時から22時30分

【実施会場】 埼玉アイスアリーナ

オ 女子アイスホッケー普及、育成事業

【実施期日】 毎月水曜夜2回、毎週土曜日朝4回 計6回

【対 象】 埼玉県アイスホッケー連盟登録選手

【実施会場】 埼玉アイスアリーナ

(4) 彩の国スポーツ推進パートナー登録制度の運営

【事業内容】 各専門家が自身の得意分野を活かした業務支援活動ができる制度を整え、本会関係スポーツ団体等の人材育成と人材活用を促す環境を整備した。

7 スポーツ関係団体運営補助事業の実施

【事業内容】 県民のスポーツ活動の窓口となる市町村体育・スポーツ協会及び県を単位とする競技団体に対して、その活動が円滑に行われるように各団体の運営費を補助した。

(1) 本会加盟団体運営補助事業

【補助金額】 市町村体育協会・スポーツ協会

40,000 円+1 月 1 日推計人口×1.5 円(千円以下切り捨て)

(2) 本会加盟競技団体運営補助事業

【補助金額】 競技団体：一律 150,000 円

(3) 学校体育団体等補助事業

【事業内容】 本会の他に県を単位とするスポーツ関連の統括団体の県費補助金を取りまとめて手続きをすることにより、円滑な要求活動と事務の効率化を図った。

【取扱団体】 埼玉県学校体育協会、埼玉県高等学校体育連盟、埼玉県中学校体育連盟、埼玉県女子体育連盟、埼玉県小学校体育連盟、特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会、埼玉県スポーツ推進委員協議会の 7 団体

8 顕彰事業

(1) 埼玉県スポーツ賞

【事業内容】 埼玉県の体育・スポーツの振興、発展に貢献し、その功績顕著な者及びスポーツ界で優秀な成績を収めた者に対し、埼玉県スポーツ賞を贈りその栄誉を称えた。

【表彰の種類】

功 勞 賞：長年にわたり体育・スポーツの指導に精通し、著しい功績をあげ、他の者の模範である者で、地域の体育、スポーツの普及、発展に寄与した者

優秀選手賞：一般及び中学生、高校生(又はチーム)が、オリンピック大会、国際大会及び全国大会等で優勝した者(又はチーム)と 3 位まで入賞した者(又はチーム)

栄 光 賞：国際競技会、国内競技会において、特に傑出した競技成績を収めたチーム、団体(栄光旗)と個人(栄光楯)

会長特別賞：世界大会等で日本を代表し、特に顕著な活躍をした本県所属及び本県ゆかりで本会加盟競技団体が認めた者又は選考委員会が認めた者

奨 励 賞：埼玉県内の小学校に在籍する児童で、公益財団法人日本スポーツ協会加盟の中央競技団体が主催する全国的競技大会に出場し優勝した者並びに国際連盟が主催する国際大会で 8 位までに入賞した者

感 謝 状：本会のスポーツ振興事業に顕著な支援及び協力をした個人又は団体

【実施時期】 令和 6 年 3 月 10 日(日)

【実施会場】 THE MARK GRAND HOTEL

【受賞者】 受賞者総数：38 団体(405 名) 個人 324 名 合計 729 名

感 謝 状：5 団体 5 名

ア 功勞賞

競技団体、学校体育団体等 34 名

市町村体育・スポーツ協会 40名 功労賞総数 74名

イ 優秀選手賞

国際大会	優勝	1団体(44名)	個人	37名
	準優勝		個人	10名
	三位、入賞		個人	17名
全国大会	優勝	20団体(184名)	個人	99名
	準優勝	8団体(83名)	個人	22名
	三位	9団体(94名)	個人	31名
日本新記録		個人	1名	
奨励賞		個人	30名	

ウ 栄光賞

栄光旗 埼玉県(第15回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会)
栄光楯 柳澤明希(アテナアクアメイツ:水泳、AS)
岸 里奈(クラーク記念国際高等学校さいたまキャンパス:体操)
尾西 桜(埼玉栄高等学校:レスリング)
奥野春菜(自衛隊体育学校:レスリング)
今井佑海(自衛隊体育学校:レスリング)
沖本優大(埼玉栄高等学校:バドミントン)
鈴木梨子(専修大学:デフテニス)

エ 会長特別賞

源田 壮亮(埼玉西武ライオンズ)
厚澤 和幸(オリックスバファローズ)
城石 憲之(東京ヤクルトスワローズ)
(以上、2023 WORLD BASEBALL CLASSIC 優勝)
浦和レッドダイヤモンズ
(AFCチャンピオンズリーグ2022 優勝)
浦和レッドダイヤモンズレディース
(2022-23 WEリーグ優勝)

オ 奨励賞

富澤 香珠	さいたま市立指扇小学校
山中 彩花	さいたま市立大宮西小学校
鈴木 里歩	さいたま市立指扇小学校
奥貫 陽	さいたま市立桜木小学校
	(以上、第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ®夏季水泳競技大会 女子11-12歳4×50mフリーレーン優勝)
大久保弘翔	さいたま市立片柳小学校
	(第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ®夏季水泳競技大会 男子10歳以下50m平泳ぎ優勝)
戸田 竜聖	越谷市立川柳小学校

土浜 悠 越谷市立大間野小学校
 岡田丈太郎 越谷市立越ヶ谷小学校
 (以上、第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ®夏季水泳競技大会
 男子10歳以下4×50mフリーレー・メドレーレー優勝)

水澤 葵生 越谷市立大相模小学校
 (第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ®夏季水泳競技大会
 男子10歳以下4×50mフリーレー優勝)

藤澤 琉偉 越谷市立越ヶ谷小学校
 (第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ®夏季水泳競技大会
 男子10歳以下4×50mメドレーレー優勝)

江原 里來 白岡市立大山小学校
 (第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ®春季水泳競技大会
 女子10歳以下50m自由形優勝)

山崎あさひ 草加市立川柳小学校
 (2023全国選抜ジュニアテニス選手権大会12才以下男子シングルス優勝)

星野 秋介 三郷市立幸房小学校
 (令和5年度第40回全国少年少女レスリング選手権大会
 3年生26kg級優勝)

東 海里 三郷市立戸ヶ崎小学校
 (令和5年度フォーデーズ杯第16回全日本女子ホッパルスリング®選手権大会
 U12の部36kg級優勝)

鈴木 大晴 三郷市立親和小学校
 (第28回全国少年少女レスリング®選手権大会6年生+70kg級優勝)

平 鈴莉空 深谷市立岡部小学校
 (全農杯・全日本卓球選手権大会ホープス・カブ・バンビの部
 バンビの部優勝)

山崎 真寛 三芳町立藤久保小学校
 (第32回東アジアホープス卓球大会男子団体第3位)

小玉 悠愛 春日部市立武里西小学校
 橋本 纏 春日部市立上沖小学校
 (以上、第32回全国小学生バドミントン選手権大会5年生以下
 女子ダブルス優勝)

三堀 爾娘 加須市立大桑小学校
 梅野 佐杜 鶴ヶ島市立栄小学校
 (以上、第32回全国小学生バドミントン選手権大会
 4年生以下女子ダブルス優勝)

田沢 太一 所沢市立伸栄小学校
 馬詰 瑛翔 所沢市立若松小学校
 内藤 遥希 星野学園小学校

小山 大晴 鶴ヶ島市立長久保小学校
 佐藤 旭 さいたま市立与野西北小学校
 宮城 洸太 さいたま市立城北小学校

(以上、第32回全国小学生バドミントン選手権大会
 都道府県対抗男子団体戦優勝)

公門 稚雲 さいたま市立宮前小学校
 (第23回全国少年少女空手道選手権型競技小学4年生男子優勝)

大塚 凛 川口市立里小学校
 (第31回JOCジュニアオリンピックカップ 武術太極拳大会女子初級長拳・女子初級短器械優勝、第40回全日本武術太極拳選手権大会女子長拳U優勝)

福原 聖太 戸田市立戸田東小学校
 (第18回オールジャパンジュニアダンススポーツカップ 2023in高崎ジュブナイルスタンダード・ジュブナイルラテン優勝、毎日新聞社杯全日本ダンススポーツ選手権ジュブナイルスタンダード・ジュブナイルラテン優勝)

【費用】 賞状、額、栄光旗、栄光楯、会長特別賞トロフィー製作代等

(2) 体育優良児童・生徒表彰

【事業内容】 県内の小・中・高校の卒業又は修了予定の児童、生徒で、よく体育・スポーツを理解、愛好し、平素、熱心にこれらを実践している者のうち、特に健康状態、運動能力、スポーツマンシップに秀いで学業成績良好にして体育的見地より全校の模範となる者を表彰した。

【実施会場】 各学校の施設

【実施時期】 表彰式は、原則、卒業式で行う。

【被表彰者数】	男子	女子	合計(学校数)
小学校・特別支援学校小学部	699名	603名	1,302名(694校)
中学校・特別支援学校中学部	450名	420名	870名(450校)
高等学校・特別支援学校高等部	231名	184名	415名(228校)
合計	1,380名	1,207名	2,587名(1,372校)

【経費】 表彰状

(3) 生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰(文部科学大臣)

※本会関係者、団体

ア 生涯スポーツ功労者

石原 茂 氏【朝霞市スポーツ協会】

勝見巨四雄 氏【埼玉県スキー連盟】

後藤 直之 氏【一般社団法人埼玉県水泳連盟】

田口 嘉章 氏【一般社団法人彩の国SCネットワーク】 ※JSP0 推薦

イ 生涯スポーツ優良団体

・スポーツクラブ

川越水上公園スポーツクラブ

特定非営利活動法人浦和美園S C C

- ・スポーツクラブ以外
該当なし

9 広報・普及活動事業

スポーツ活動の普及、振興のため作成した本会キャッチフレーズ「まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役」の活用や「スポーツ埼玉」の発刊、ホームページでの情報発信、懸垂幕の活用などを行った。

(1) 「スポーツ埼玉」誌の発刊

【事業内容】本会広報誌「スポーツ埼玉」を発刊し、本県が取り組んでいるスポーツ施策、本会が行った講演、シンポジウムなどを掲載するほか、国民スポーツ（体育）大会埼玉県選手団の活躍及び成績、県内の指導者の推薦図書、本県の体育・スポーツの発展に尽力した偉人の紹介など、多岐にわたるスポーツ情報を発信した。

【発刊及び作成部数】年4回（No.299、300、301、302）各11,000部

【主な配布場所】県歯科医師会会員（県内歯科医院）、県理容組合加盟店、県内ゴルフ練習場、県健康スポーツ医会会員、県内金融機関（埼玉りそな、武蔵野、埼玉縣信用金庫、JAバンク埼玉）県内各店舗、県内小中高校及び大学、県内公共スポーツ施設、本会にご支援頂いている企業、総合型地域スポーツクラブ、県内公共図書館、埼玉県人会会員等

【費用】購入代金等：無料 印刷製本費、通信運搬費

(2) IT 及びホームページの活用と充実

ホームページを活用し、ブログ式による各種情報の提供をはじめ、スポーツ大会やスポーツ活動を撮影した写真提供などの充実を図った。

【費用】サーバー管理料（及び一部更新料）

(3) キャッチフレーズの活用

ア 各種諸事業での横断幕の活用

- ・スポーツ総合センターロビーに掲示
- ・埼玉県駅伝競走大会（陸上競技場）に掲示

イ 封筒への印刷

ウ スポーツ少年団種目別大会等での明記（掲示）

- ・全ての実施要項等に明記

(4) 懸垂幕の活用

【主な掲示物】

- ・スポーツ総合センターの掲示
- ・キャッチフレーズ（まず参加 たのしくスポーツ みんなが主役）の掲示
- ・埼玉県スポーツ協会創立100周年に関する掲示

【費用】懸垂幕作成代

10 埼玉県立武道館の指定管理

(1) 武道の普及、振興

株式会社サイオーとの共同事業体により、県民サービスの向上と日本古来のスポーツである武道の普及、振興を図った。

(2) 県立武道館の主催事業への協力、支援

利用率の向上と、スポーツへの親しみや地域との連携を醸成するため、自主事業の活動を支援した。

ア スポーツフェア 2023

【実施時期】 令和5年5月14日(日)

【実施会場】 埼玉県立武道館(全館)及びスポーツ総合センターアリーナ他

【参加者】 5,171名(武道館教室生及び地域住民)

【経費】 設営等に要した費用の一部負担及び職員の派遣

イ 新春初稽古会

【実施時期】 令和6年1月4日(木)

【実施会場】 埼玉県立武道館(全館)

【参加者】 3武道団体 335名(武道館教室生)

ウ トップアスリート青少年少林寺拳法講習会

【実施期日】 令和5年10月1日(日)

【実施会場】 埼玉県立武道館

【参加者】 104名

11 スポーツ活動における安全管理

(1) 体育・スポーツ協会主催行事に係る賠償責任保険制度の活用

年々、スポーツ傷害やスポーツ事故が増えている中、主催者に対する事故等への賠償責任を問われる判例が示されてきている。

県民のスポーツ活動と市町村体育・スポーツ協会の運営がともに安心して取り組める環境を整えるため、本会及び本会加盟市町村体育・スポーツ協会、加盟競技団体で加入した。

なお、競技団体が主催する大会は、本会又は市町村体育・スポーツ協会と共催することで対象となる。令和5年度は該当する事故はなかった。

【保険の概要】

1 契約者：公益財団法人埼玉県スポーツ協会

2 被保険者：公益財団法人埼玉県スポーツ協会及び各郡市町村体育・スポーツ協会、加盟競技団体

3 保険期間：1年間(令和5年4月1日午後4時～令和6年4月1日午後4時まで)

4 補償内容：対人対物共通てん補限度額：1事故5億円

免責金額：50万円

5 保険金支払の想定例

・落雷が予想される中、競技を継続したため、発生した落雷により参加者が死傷した。

- ・イベントの観客を観客席に誘導するミスにより、観客が将棋倒しになり、観客にけが人が発生した。
- ・イベント中に事故が発生し、主催者側の過失によりイベントの中断、救助活動が遅れたため、参加者が死傷した。
- ・大会会場の施設に明らかな破損が認められていたにもかかわらず、イベントを強行実施したため参加者が死傷した。

(2) スポーツ傷害保険の活用

総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団などの関係者にスポーツ安全協会（傷害保険）の活用を呼びかけ、安心してスポーツ活動ができる環境の整備を推進した。

【主な取組】総合型地域スポーツクラブでは、本会のクラブアドバイザーが現地ヒアリング等の時に説明等を行い、スポーツ少年団では、専門委員会での検討を重ね、指導者現地研修会や種目別代表者会議など指導者が多く集まる会議等でスポーツ傷害保険の活用を呼びかけた。

(3) リスクマネジメントに係る研修会の促進

総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団などの関係者にリスクマネジメントに係る研修会を行い、安心してスポーツ活動ができる環境の整備を推進した。

【主な取組】総合型地域スポーツクラブでは、本会のクラブアドバイザーが現地ヒアリング等の時に指導、助言を行い、スポーツ少年団では、認定員養成講習会、認定員研修会等でのカリキュラムとして行い、スポーツ活動に携わる関係者に対し、リスクマネジメントの大切さを呼びかけた。

12 指定寄付・賛助会員制度の推進

【事業内容】本会、加盟団体、総合型地域スポーツクラブ創設支援クラブ等への寄付により、スポーツ団体の活性化を図った。また、安定した経営と充実した事業の展開を図るため、本趣旨にご賛同くださる方々（賛助会員）を募った。

(1) 一般寄付：使途の定めのない寄付 法人 3 団体

埼玉県信用金庫協会、埼玉縣信用金庫、株式会社武蔵野銀行

(2) 特定寄付：使途に定めのある寄付 法人 1 団体

株式会社サイニチホールディングス（フィギュアスケート競技会、屋内水泳競技会）

(3) 賛助会員制度の推進 法人 39 団体（団体名は令和 6 年 3 月 31 日現在）

（公財）草加市スポーツ協会、ゆりのき鍼灸整骨院、埼玉県野球連盟、（公財）川口市スポーツ協会、（一財）埼玉陸上競技協会、（一社）埼玉県弓道連盟、埼玉県ソフトテニス連盟、（公財）さいたま市スポーツ協会、嵐山町スポーツ協会、（公財）熊谷市スポーツ協会、埼玉県柔道連盟、株式会社埼玉新聞社、戸田市スポーツ協会、（公財）埼玉県剣道連盟、三郷市スポーツ協会、埼玉県空手道連盟、株式会社アールはっとり鍼灸接骨院、株式会社埼玉スポーツ、深谷市スポーツ協会、株式会社丸幸、（公財）新座市スポーツ協会、株式会社サイオー、学校法人後藤学園 武蔵丘短期大学、滑川町スポーツ協会、株式会社ナックプランニング、株式会社サイニチホールディングス、株式会社高協基礎工事、北本市スポーツ協会、川島町スポーツ協会、東

松山市スポーツ協会、埼玉県スケート連盟、小川町スポーツ協会、学校法人稲穂学園 いなほ幼稚園、埼玉県グラウンド・ゴルフ協会、白岡市体育協会、大蔵屋商事株式会社、小鹿野町スポーツ協会、（一社）埼玉県水泳連盟、吉見町スポーツ協会他2団体

井上良江、上羅廣、上條岳、藤本泰宏、林一夫、谷古宇勘司、藤沼貞夫、永井一博、山下誠二、保科征男、田中稔、棚沢絹江、上島孝之、野澤誠一、田村和夫、和泉洋、小山吉男、森田進一、松原誠、野中常七郎、川田一成、大保木輝雄、中田次夫、柿原順子、野口英夫、本橋民夫、青葉昌幸、田中靖男、永嶋龍次、宮内孝知、内田秀男、山下晴海、横田南、小原敏彦、中田善雄、小畔東、小川貴、山下征、大野勝生、高橋順一、新井彰、前之園晴廣、堀部武男、羽鳥利明、小林伸子、数野裕之、久保正美、吉川洋一、忍田壽生、松本敏、竹之下司、青葉元由紀、山下實、檜浦岳人、尾崎豊、井上寿枝、三戸一嘉、北清治、増田優、宮下達也、河本弘、菅野潤一、山口正貴、須田邦明 他3名

13 スポーツ教室の開催

【事業内容】本会管理運営施設を活用し、スポーツの普及と強化、県民の健康増進を図った。

(1) ライフル射撃競技体験教室

【実施期日】第1期：令和5年7月12日（水）・19日（水）・26日（水）
第2期：令和5年9月13日（水）・20日（水）・27日（水）
第3期：令和5年11月2日（木）・9日（木）・16日（木）
第4期：令和6年1月17日（水）・24日（水）・31日（水）

【実施会場】スポーツ総合センター

【参加総数】13名

(2) 団体利用者スケート教室

応募なし

(3) 体験教室(校外教室)

【実施期日】令和5年7月～令和6年1月

【実施会場】埼玉アイスアリーナ

【参加者数】4校92教室延べ1,109名

【受取参加料】無料 ※滑走料は受益者負担

(4) アイスホッケー体験教室（県アイスホッケー連盟協同事業）

【実施期日】①コバトン杯（3×3）同時実施

4/9、4/16、5/7、5/14、5/21、6/11、6/18、6/25、7/2

②ジュニア育成事業時に実施

1/7、1/21、2/4、2/11、3/10、3/31

【実施会場】埼玉アイスアリーナ

【参加者数】延べ75名

【受取参加料】無料

公益 2 競技力向上事業

1 国民体育(スポーツ)大会

(1) 埼玉県予選会の実施

【事業内容】国民体育(スポーツ)大会に参加する競技団体に対して公正で公開された選考会の運営を指導、監督した。

(2) 関東ブロック大会選手団の編成及び派遣

【事業内容】県予選会を経て選ばれた選手で選手団を編成し、特別国民体育大会・第78回国民スポーツ大会冬季大会関東ブロック大会に選手団を派遣した。

【競技会場】埼玉県

【実施期日】各競技により日程が異なる

【派遣人数】競技 監督、選手 48 名

(3) 特別国民体育大会(会期前:水泳含む 6 競技/本大会:陸上競技含む 31 競技)

ア 燃ゆる感動かごしま国体

【競技会場】鹿児島県内 鹿児島市 他 25 市町

【開催期日】会期前:令和 5 年 9 月 16 日(土)~9 月 24 日(日)

本大会:令和 5 年 10 月 7 日(土)~10 月 17 日(火)

【参加人数】役員、監督、選手 572 名

【成績】天皇杯 第 5 位 1613.0 点

◎競技別天皇杯獲得団体 2 競技団体

皇后杯 第 4 位 932.0 点

◎競技別皇后杯獲得団体 2 競技団体

(4) 第 78 回国民スポーツ大会冬季大会

ア スケート、アイスホッケー競技会

【競技会場】北海道・苫小牧市

【実施期日】令和 6 年 1 月 27 日(土)~2 月 3 日(土)

【参加人数】役員、監督、選手 82 名

イ スキー競技会

【競技会場】山形県山形市、上山市、最上町

【実施期日】令和 6 年 2 月 21 日(水)~24 日(土)

【参加人数】役員、監督、選手 43 名

(5) 特別国民体育大会表彰式

【実施期日】令和 5 年 11 月 17 日(金)

【実施会場】埼玉会館

【参加者数】特別国民体育大会入賞者及び関係団体、関係者約 246 名

【成績】競技別天皇杯獲得団体(2 競技団体)

競技別皇后杯獲得団体(2 競技団体)

団体 第 1 位 4 団体 第 2 位 2 団体 第 3 位 3 団体

第 4 位 3 団体 第 5 位 7 団体 第 6 位 2 団体

第7位 3団体 第8位 2団体
個人 第1位 47名 第2位 53名 第3位 62名
第4位 39名 第5位 59名 第6位 22名
第7位 27名 第8位 30名

(6) 国民体育大会功労賞特別表彰(公益財団法人日本スポーツ協会)

令和5年度 本県該当者無

2 彩の国アスリートの一体的育成・強化事業【助成(補助)事業】

【助成内容】彩の国アスリートの育成・強化等を一体的に推進するため、彩の国アスリート強化5か年計画に基づく通年に渡る活動を支援するための助成(補助)事業。

【助成対象経費】競技力向上事業の手引きのとおり

【助成団体】 競技(陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン)
約1,500名

【助成金額】 53,209,116円

【対象期間】競技団体毎に4月から3月の祝祭日を中心に実施。

【開催場所】当センターのスポーツ施設他、公共施設、学校体育施設等

3 直前強化訓練事業

【内容】国民体育(スポーツ)大会本戦出場を決めた競技団体に対し、実践的な強化訓練を実施できるよう補助金を交付する。

【対象団体】指定競技団体

【助成金額】10,289,600円

4 競技団体指定クラブ強化事業

【内容】各競技で優秀な選手を輩出しているクラブや今後期待されるクラブと連携し、選手強化を行うための強化事業に対して助成(補助)する。

【助成対象経費】競技力向上事業の手引きのとおり

【対象期間】通年

【開催場所】各クラブが利用している施設。

【助成団体】競技 クラブ(陸上2、水泳10、テニス2、ボート1、ホッケー2、バレーボール1、体操競技3、バスケットボール2、レスリング2、ソフトテニス1、卓球2、野球2、相撲1、馬術5、フェンシング1、柔道1、ソフトボール1、バドミントン1、山岳、スポーツクライミング4、カヌー2、アーチェリー1、

なぎなた1、スケート1、アイスホッケー1、スキー1、トライアスロン1)
約570名

【助成金額】3,750,000円

5 中・高体連育成強化事業の実施

【内容】中・高の一貫した指導理念に基づく有望選手の早期発掘により、彩の国アスリートの登竜門である、全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会での活躍に資するとともに、愛郷心を芽生えさせ、有望選手の県内定着を図り、世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成した。

【助成対象経費】競技力向上事業の手引きのとおり

【開催期日】7月から3月の祝祭日を中心に実施した。

【開催場所】当センターのスポーツ施設他、公共施設、学校体育施設等

【助成対象団体】埼玉県高等学校体育連盟、埼玉県中学校体育連盟

【助成金額】8,000,000円

【成績】

(1) 令和5年度全国高等学校総合体育大会成績(冬季含む)

◎団体	優勝	準優勝	3・4位	ベスト8	合計
男子	1団体	1団体	1団体	7団体	10団体
女子	1団体	0団体	2団体	4団体	7団体
◎個人	優勝	準優勝	3・4位	ベスト8	合計
男子	11名	4名	13名	21名	49名
女子	11名	7名	8名	17名	43名

(2) 令和5年度全国中学校体育大会成績(冬季含む)

◎団体	優勝	準優勝	3・4位	ベスト8	合計
男子	1団体	1団体	0団体	3団体	5団体
女子	0団体	0団体	1団体	4団体	5団体
◎個人	優勝	準優勝	3・4位	ベスト8	合計
男子	6名	1名	5名	12名	24名
女子	3名	4名	10名	14名	31名

6 次世代アスリートの発掘・育成事業

(1) プラチナキッズ発掘・育成事業

【事業内容】高い身体能力を有する小学生年代のアスリートを発掘、認定し、県競技団体とともに、それらのアスリートが自己の可能性を最大限に拓けられる環境を整えつつ、競技団体が優れた資質を有する人材の獲得に資する支援を行った。

ア 発掘プログラム

【募集対象】県内小学校4年生

【募集期間】令和5年6月下旬から10月1日

【選考方法】第1ステージ 新体力テスト結果による書類選考
第2ステージ 発掘測定会の実技結果による選考

【発掘測定会】令和5年11月12日(日) 埼玉県立武道館、スポーツ総合センター
イ 対象者への研修の実施(育成プログラム)

【実施期間】4月から3月

【主なプログラム】ALS、プラチナ☆ジム

ウ パスウェイプログラム

【実施期間】4月から3月のうち競技団体が定める日時、会場

【主なプログラム】KSC 23回 延べ351名
練習会 4競技 不定期開催

(2) プラチナジュニア発掘・育成事業

【事業内容】特定の競技に関わる非凡な能力を有する県内中学生年代のアスリートを新たに発掘、認定し、本県のスポーツ資源を活かしたサポートを通じて、それらのアスリートが自己の可能性に挑戦できる環境を整え、世界を目指して活躍するアスリートの輩出を目的として実施した。

ア 発掘プログラム

【募集対象】県内小学校6年生、中学1年生、中学2年生

【募集期間】令和5年6月中旬から10月1日

【選考方法】第1ステージ 新体力テスト結果による書類選考
第2ステージ 競技団体トライアウトによる選考

【競技別選考】令和5年11月～12月 競技団体が定める日時、会場

イ 育成プログラム

【実施日】 令和5年6月25日、9月3日、

【主なプログラム】障害予防プログラム、スポーツ科学教育プログラム等

【競技別特別プログラム】 関東ブロック大会観戦プログラム

ウ 競技別プログラム(競技専門トレーニング)

【実施日】 令和5年4月から令和6年3月まで

【対象競技】トライアスロン、ラグビーフットボール、ローイング、ライフル射撃

(3) プラチナアスリート強化支援事業

【事業内容】本県の次世代を担うトップアスリート候補者が国内主要大会や国際大会等に万全な状態で挑戦できるよう、スポーツ医・科学サポート等を効果的に活用できる体制を整備し、本県からより多くのトップアスリートが持続的に輩出されることを目的に実施した。

ア 発掘プログラム

【事業内容】将来、国際大会や国民体育大会で活躍できるトップアスリートを本県から輩出するため、令和6年度対象者の選考に関わる情報を収集し、埼玉県へ提供した。

イ 競技力向上サポート

【事業内容】本会登録パートナーと連携を図り、埼玉県が認定するアスリートのニー

ズに基づいたトレーニングプランの作成、メニュー作成支援・提供、研修機会の提供等を実施し、継続的に当該選手の育成・強化活動をサポートした。

(ア) パートナーによる彩の国アスリート等への専門的サポートの提供
パートナーとの連携を図り、当該選手のニーズに基づいたトレーニングプランの作成、メニュー作成支援、提供、研修機会の提供等を実施し、継続的に当該選手の育成、強化活動をサポートした。

(イ) その他のサポート

競技力向上に有益なサポート手法を開発、検討を行った。

〈専門家によるサポートの例〉

埼玉県歯科医師会と連携したマウスガード製作 等

【実施期間】 令和5年4月～令和6年3月

7 スポーツ環境整備事業

(1) 競技用器具機材等の整備

助成実績なし

8 支援スタッフサポート事業

(1) 医学サポートスタッフ派遣【助成(補助)事業】

【事業内容】 国民体育（スポーツ）大会において、本県選手の誤飲によるドーピングの防止、スポーツ傷害の防止やメンタル的サポートなど、医学サポートの充実を図った。

【対象者】 競技団体所属顧問医及び公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー又は医療関係の国家資格を有するトレーナー等

【対象者】 派遣対象候補者で、競技団体から申告のあった者の中から本会会長が決定。

(2) 競技別支援スタッフの派遣

【助成内容】 国民体育（スポーツ）大会において本県選手が最大限の競技力を発揮できる環境を整備するため、支援スタッフを派遣した。

【対象者】 競技団体長から推薦のあった者を埼玉県選手団の支援スタッフに委嘱した。

ア 会長指名派遣：18 競技 19 名(本大会 18 名、冬季大会 1 名)

イ 支援スタッフ派遣者：31 競技 61 名(本大会 55 名、冬季大会 6 名、医学サポート含む)

ウ 競技団体負担派遣者：12 競技 28 名(派遣に係る費用は競技団体負担)

9 埼玉県国民体育大会候補選手強化特別委員の委嘱

【事業内容】 埼玉県と連携、協力し、当該年度の国体候補選手、監督、指導者の所属する高等学校長及び中学校体育連盟会長を強化特別委員として委嘱し、選手の練習環境を整え、より一層の競技力向上を図った。

- 【特別委員会】 令和5年6月6日(火)
- 【実施会場】 県民健康センター
- 【委員の委嘱】 78名
- 【費用】 会場使用料及び当日の会議参加者旅費交通費

10 国民体育（スポーツ）大会必勝対策会議

- 【事業内容】 競技力向上に関する指導者を対象に、トレーニングや技術指導等に関する研修を行うとともに、国民体育（スポーツ）大会での必勝体制の確立を図った。
- 【実施時期】 令和5年6月30日(金)
- 【実施会場】 スポーツ総合センター 講堂及び各研修室
- 【参加人数】 国民体育（スポーツ）大会実施競技団体選手強化関係者 55名

11 ジュニア強化対策合同会議

- 【内容】 ジュニア期(小学生～高校生)のアスリートを発掘・育成する競技団体や中・高体連の指導者が一堂に会し、競技力向上に関する現状や課題等を共有するなど、相互の連携を深めることで一貫指導体制の構築をより一層推進し、世界に羽ばたくアスリートの育成・強化基盤の整備と連携強化を支援した。
- 【開催期日】 令和5年12月6日(水)
- 【実施会場】 スポーツ総合センター
- 【参加者】 競技団体 28名 企業 49名 計 77名

12 埼玉スポーツの未来を考える会

- 【事業内容】 本県の競技力を支える支援企業、大学等と競技団体関係者が一堂に会し、更なる競技力向上のため相互に連携した協力体制の確立を図った。
- 【実施時期】 令和6年1月12日(金)
- 【実施会場】 ロイヤルパインズホテル浦和
- 【参加者】 競技団体 34名 企業 34名 計 68名
- 【受取参加料】 一人 9,000円(懇親会費)

13 埼玉県スポーツ指導者研修会

(1) 彩の国アスリートコーチング研修会（旧埼玉県スポーツ指導者研修会）

- 【内容】 スポーツ科学に基づく競技力向上を推進するための指導者研修会を実施した。
- 【実施期日】 令和5年6月10日(土)
- 【実施会場】 スポーツ総合センター
- 【対象者】 競技力向上事業対象団体競技コーチ・支援スタッフ等 46名
- 【講師】 早稲田大学 広瀬統一氏「トータルコンディショニング概論」
東海大学 勝田隆氏「学び続ける指導者に求められる素養」

【資格有無】運動部活動指導者の参加促進のため指導者資格は不問

(2) 埼玉県公認スポーツ指導者研修会

【内 容】公認スポーツ指導者及び競技団体強化担当指導者の資質の向上と活動の促進を図る研修会を実施した。(JSP0 公認スポーツ指導者制度に基づいた義務研修)

【実施期日】令和5年12月9日(土)

【実施会場】スポーツ総合センター

【対象者】公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格保有者 117名

【講 師】順天堂大学 武田剛 氏

(3) 彩の国スポーツ医・科学推進会議(旧支援スタッフ研修会)

【事業内容】専門家間の交流を通して国民体育(スポーツ)大会や彩の国スポーツ推進パートナーの役割等について専門家間の共通理解を深め、スポーツ科学に関する最新の情報を発信した。

【実施時期】令和5年8月28日(月)

【実施会場】レイボックホール(市民会館おおみや)

【対象者】彩の国スポーツ推進パートナー登録者、スポーツ埼玉未来づくりパートナー、競技団体スポーツ医・科学サポートスタッフ、スポーツ科学委員歴任者、県内体育・スポーツ系大学関係者、JSP0メディカル・コンディショニング資格保有者協議会が推薦する者など 63名

14 スポーツ団体インテグリティ推進事業(競技別研修会)

【対象団体】加盟競技団体等

【助成内容】競技団体運営におけるガバナンス・コンプライアンスを支援する専門家の橋渡しを行う。また、競技団体役職員を対象とする研修会を開催した。

【助成対象経費】研修会に係る講師謝金、法律相談に係る助成金

【研修会】

期日：令和5年10月28日(土)

会場：スポーツ総合センター

対象：加盟競技団体等

講師：JSC スポーツインテグリティユニット・埼玉弁護士会スポーツ法部会

15 選手強化対策委員会関連資料の作成

【事業内容】競技力向上事業を効率的に推進並びにスポーツ科学を活かした知見の普及を図った。

(1) 選手強化対策委員会要覧

【配布先】選手強化関連資料の電子データ化

(2) スポーツ科学普及促進情報誌の企画、制作

【配布先】本会ホームページ及びJ-STAGEに掲載した。

(3) コーチのしおり

- 【発刊時期】 3月
- 【作成部数】 280部
- 【配布先】 競技団体及び教育関係機関
- 【費用】 印刷製本費

16 スポーツ科学研究事業

スポーツを科学的見地から研究し、競技力の向上と県民の健康の増進と生涯スポーツの振興を図った。

(1) アンチ・ドーピング教育啓発事業

【事業内容】 国民体育（スポーツ）大会候補監督、選手、支援スタッフ等が集う機会を活かし、アンチ・ドーピング教育・啓発教材を作成、配布した。

【対象事業・実施時期】 必勝対策会議(6月30日)

高校総体結団式(7月14日)

国民体育大会結団式・壮行会(9月25日)

アンチ・ドーピングホットライン：通年

【参加者】 必勝対策会議：国民体育大会実施40競技団体選手強化関係者55名

高校総体結団式：インターハイ出場選手、関係者約900名

国民体育大会選考会議：競技団体役員、監督約100名

国民体育大会結団式：本大会出場選手、監督約450名

アンチ・ドーピングホットライン：問い合わせ件数20件(延べ25品目)

(2) 国体選手(彩の国アスリート)の健康管理事業

【内容】 国民体育（スポーツ）大会埼玉県候補選手等を対象に問診票に基づく調査を実施し、パートナー（ドクター及び薬剤師）が回答内容に所見を提示し、該当者に対して必要な助言を行った。

【実施時期】 配布：本大会 令和5年7月 冬季大会 令和5年12月

回収：本大会 令和5年8月 冬季大会 令和6年1月

【対象者】 国民体育（スポーツ）大会埼玉県候補選手・監督

【回答・対応数】 434件

(3) 国民体育（スポーツ）大会帯同ドクター派遣

【内容】 ドーピングコントロールとスポーツ障害の防止を図るため、スポーツドクターを本部役員として選手団に帯同させ、ドーピングの防止に努めるとともに、選手・監督の要請を受け、スポーツ傷害の防止並びにメンタル的サポートを行った。

なお、帯同ドクターは、日本スポーツ協会が定めた選手団編成基準の役員に位置付けられている。

【派遣期間・派遣者数】

ア 会期前 令和5年9月16日(土)～9月24日(日)・3名

イ 本大会(34競技) 令和5年10月7日(土)～10月17日(火)・3名

ウ 冬季(スケート・アイスホッケー競技会)

令和6年1月27日(土)～2月3日(土)・2名

エ 冬季(スキー競技会) 令和6年2月21日(水)～2月24日(土)・1名

(4) スポーツ医・科学相談事業

ア スポーツ医・科学相談窓口

【内容】スポーツ医・科学の知見に基づく専門家による相談窓口を設置・運営した。

【時期】10月～

【対象者】当該年度彩の国アスリート指定者及び過年度プラチナキッズ・ジュニア修了生又はそれらの保護者・指導者

【相談件数】15件

イ アスリート向けクリニック

【内容】世界に羽ばたくトップアスリートを継続的に輩出するため、スポーツ医・科学の知見に基づく専門家からの個別又は少人数での指導、助言を提供できる体制を構築する。加えて、それらの活動により得られたデータを継続的に蓄積・分析することにより本県競技力の向上に活用する体制を整備した。

【実施回数】5回

【実施時期】6月～3月

【対象者】スポーツ医・科学相談窓口利用者のうち本活動によるサポートが必要な者

【利用人数】延べ44名

ウ 彩の国コーチアカデミー（スポーツ指導者向けセミナー）

【趣旨】スポーツ医・科学の知見を効果的に指導現場で活用するためのセミナーを開催した。

【実施回数】4回

【対象者】本会加盟団体等が推薦する競技コーチ、スポーツ科学担当者等
延べ94名（スポーツ科学担当者会議出席者を含む）

【備考】第1回は彩の国スポーツコーチ研修会を兼ねて実施
第5回は競技団体スポーツ科学担当者会議を兼ねて実施

(5) プラチナ☆ジム〔令和5年度プラチナキッズ・ジュニア事業対象者〕

【趣旨】将来、国際大会で活躍できるトップアスリートを本県から輩出するため、スポーツ科学の知見を活用したトレーニングサポート等を行った。

【対象期間】5月～3月末

【対象者】プラチナ・キッズ 61名 プラチナ・ジュニア 39名

【活動内容】トレーニング理論・指導、栄養、応急処置、障害予防、セルフケアなどに関する講義

(6) スポーツ医・科学関係団体との連携

【趣旨】スポーツ医・科学支援を担う関係機関が連携できる体制を構築することを
目指し、関係団体による連絡体制を整備した。

【期日】令和6年2月11日（日）

【会場】スポーツ総合センター

【対象】競技団体スポーツ科学担当者等27名

【内容】彩の国コーチアカデミー参加者や競技団体スポーツ科学担当者、障害者スポー

ツ関係者等による県内におけるスポーツ科学活用の普及に向けた意見交換を実施し、グループディスカッションにより課題や対応策を共有した。（競技団体スポーツ科学担当者会議として開催）

公益3 スポーツ少年団事業

1 令和5年度埼玉県スポーツ少年団登録状況

(1) 団数	更新	1,383 団	新規	14 団	合計	1,397 団
(2) 指導者	更新	8,900 名	新規	584 名	合計	9,484 名
(3) 役員スタッフ	更新	2,902 名	新規	1,086 名	合計	3,988 名
(4) 団員	男子	29,574 名	女子	10,586 名	合計	40,160 名

2 埼玉県スポーツ少年団大会の開催

(1) 埼玉県スポーツ少年団種目別大会の開催

【事業内容】日々のスポーツ活動で学んだルールや技術、それらを習得する過程で得られるマナーやモラルを実践する場を作るとともに、併せて子ども達の指導に当たる者たちの資質の向上を図った。

ア 軟式野球

- ・第42回埼玉県スポーツ少年団夏季小学生軟式野球交流大会

【実施時期】令和5年5月28日(日)、6月4日(日)、6月11日(日)、18日(日)

【実施会場】加須市きずなスタジアム 他

【参加団数】306 団

- ・第48回埼玉県スポーツ少年団小学生軟式野球交流大会

【実施時期】令和5年10月1日(日)、8日(日)、21日(土)、29日(日)

【実施会場】県営大宮公園野球場 他

【参加団数】306 団

- ・第46回埼玉県スポーツ少年団中学生軟式野球交流大会

【実施時期】令和5年7月29日(土)、30日(日)、8月5日(土)

【実施会場】ケイアイスタジアム 他

【参加団数】12 団

- ・第19回埼玉県スポーツ少年団女子団員軟式野球交流大会

【実施時期】令和5年11月23日(祝木)、25日(日)

【実施会場】加須きずなスタジアム 他

【参加団数】11 団

イ サッカー

- ・第51回埼玉県サッカー少年団大会

【実施時期】令和6年1月14日(日)、21日(日)、2月4日(日)

【実施会場】埼玉スタジアム2002(第2、第3グラウンド)他

【参加団数】396 団

- ・第8回埼玉県スポーツ少年団U-10サッカー大会

【実施時期】令和5年12月3日(日)、17日(日)

【実施会場】新座市陸上競技場 他

【参加団数】395 団

ウ バスケットボール

- ・第42回ミニバスケットボール交流大会
【実施時期】令和4年7月8日(土)、9日(日)
【実施会場】川越運動公園総合体育館
【参加団数】271団
- ・第24回ジュニアリーダーバスケットボール交流大会
【実施時期】令和5年8月13日(日)
【実施会場】深谷ビッグタートル
【参加団数】58団

エ バレーボール

- ・第42回関東ブロックスポーツ少年団バレーボール大会埼玉県大会
【実施時期】令和5年6月25日(日)、7月2日(日)
【実施会場】熊谷スポーツ文化公園体育館 他
【参加団数】111団
- ・第18回埼玉県スポーツ少年団キッズ交流大会
【実施時期】令和5年8月5日(土)、6日(日)
【実施会場】熊谷スポーツ文化公園体育館
【参加団数】48団
- ・第19回埼玉県スポーツ少年団リーダー交流大会
【実施時期】令和5年8月20日(日)
【実施会場】熊谷市大里体育館
【参加団数】9団
- ・第46回埼玉県スポーツ少年団バレーボール交流大会兼全国大会予選
【実施期日】令和5年12月17日(日)、24日(日)
【実施会場】北本スポーツセンター他
【参加団数】111団

オ 剣道

- ・第47回埼玉県スポーツ少年団剣道交流大会
【実施期日】令和5年9月23日(日)
【実施会場】所沢市民体育館
【参加団数】77団
- ・第46回全国スポーツ少年団剣道交流大会選手選考会
【実施期日】令和5年12月10日(日)
【実施会場】グルル宮代
【参加団数】30団

カ ソフトボール

- ・第46回ソフトボール中央大会
【実施期日】令和5年7月29日(土)、30日(日)8月5日(土)、6日(日)
【実施会場】北本市総合公園多目的広場

【参加団数】 18 団

キ 空手道

第 39 回埼玉県スポーツ少年団空手道交流大会

【実施期日】 令和 5 年 9 月 18 日(月・祝)

【実施会場】 埼玉県立武道館

【参加団数】 52 団

ク 柔道

第 45 回埼玉県スポーツ少年団柔道親善大会

【実施期日】 令和 5 年 10 月 22 日(日)

【実施会場】 埼玉県立武道館

【参加団数】 33 団

ケ バドミントン

・ 第 41 回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(団体戦)

【実施期日】 令和 5 年 12 月 2 日(日)

【実施会場】 蓮田市総合市民体育館

【参加団数】 17 団

・ 第 29 回埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(個人戦)

【実施期日】 令和 6 年 2 月 12 日(月・祝)

【実施会場】 蓮田市総合市民体育館

【参加団数】 17 団

コ ソフトテニス

・ 第 44 回埼玉県スポーツ少年団中学生ソフトテニス交流大会

【実施期日】 令和 5 年 8 月 11 日(金・祝)

【実施会場】 熊谷さくら運動公園テニスコート

【参加団数】 12 団

・ 第 44 回埼玉県スポーツ少年団小学生ソフトテニス交流大会

【実施期日】 令和 5 年 9 月 23 日(土)

【実施会場】 くまがやドーム

【参加団数】 27 団

・ 第 10 回埼玉県スポーツ少年団小学生ソフトテニス交流大会団体戦

【実施期日】 令和 6 年 2 月 11 日(月・祝)

【実施会場】 くまがやドーム

【参加団数】 26 団

サ 複合

・ 第 43 回埼玉県スポーツ少年団複合種目大会

【実施期日】 令和 5 年 9 月 2 日(土)～3 日(日)

【実施会場】 大滝げんきプラザ

【参加団数】 10 団

シ 駅伝

- ・第41回埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会
【実施期日】令和6年2月11日(月祝)
【実施会場】熊谷スポーツ文化公園 陸上競技場
【参加団数】29団

ス 体 操

- ・第13回埼玉県スポーツ少年団体操競技交流大会
【実施期日】令和5年12月3日(日)
【実施会場】川越総合運動公園体育館
【参加団数】10団

(2) 埼玉県スポーツ少年団大会(野外活動大会)

- 【事業内容】県内スポーツ少年団登録団員が参加し、野外活動を通じて団員相互の交流や親睦を図るとともに、県内リーダーの育成を目的とした事業を実施した。
- 【実施期日】令和5年9月9日(土)～10日(日)
- 【実施会場】埼玉県立名栗げんきプラザ
- 【参加人数】98名(団員78名、引率指導者4名、運営スタッフ16名)
- 【参加料】6,000円(一人)

3 第50回日独スポーツ少年団同時交流事業

- 【事業内容】日本スポーツ少年団とドイツスポーツユース間の、「日独スポーツ少年団国際交流協定書」に基づき、両国のスポーツ少年団の優れた青少年及び指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めるとともに、両国の青少年スポーツの発展に寄与するために実施した。

(1) 派遣事業

- 【派遣期間】令和5年7月27日(木)～8月13日(日)
- 【派遣場所】ドイツ連邦共和国
- 【派遣人数】団員2名、指導者1名
- 【費用】個人負担250,000円(内県本部補助 団員:100,000円)

(2) 受入事業

- 【派遣期間】令和5年7月26日(水)～8月11日(金)
- 【派遣場所】小鹿野町スポーツ少年団
- 【受入人数】指導者1名、団員7名
- 【経費】受入市町村本部へ1,250,000円助成

4 指導者養成・研修事業

(1) スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

(県本部開催:1コース 市町村開催:19コース)

- 【事業内容】日本スポーツ協会指導者制度に基づき、単位団活動で指導に当たる指導者を養成した。(検定合格者は所定の手続きを行うことにより、公益財団

法人日本スポーツ協会公認スタートコーチ(スポーツ少年団)が付与される。)

ア 県本部開催

【実施期日】 令和5年9月2日(土)

【実施会場】 クレアこうのす

【参加人数】 60名

【受取参加料】 1人5,500円

イ 市町村開催コース

【実施期日】 令和5年4月1日～令和6年2月18日

【実施会場】 17市町19コース

【参加人数】 951名

【受取参加料】 1人5,500円

(2) スタートコーチインストラクター移行研修会

ア 日本スポーツ少年団開催事業への派遣

【事業内容】 日本スポーツ協会指導者制度に基づく「スタートコーチ(スポーツ少年団)」養成講習会の講師を充実させるため、旧認定育成員等に参加を促し、講習会を開催する体制の充実を図った。

【実施期日】 研修会：令和5年10月7日(土)、14日(土)、29日(日)

講習会：令和5年11月4日(土)、5日(日)

【実施会場】 研修会：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 他 全国3会場

講習会：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

【参加者】 研修会：5名

講習会：2名

【支払参加料】 研修会：一人2,200円(×参加者実数)

講習会：一人4,400円(×参加者実数)

イ 埼玉県スポーツ少年団開催事業

スタートコーチ養成内容の変更等に伴い中止

(3) 登録指導者研修会【助成事業】

【事業目的】 日頃のスポーツ少年団活動において、子ども達の育成、指導に当たる登録指導者の資質の向上を図るとともに、情報交換を目的とする研修会の開催費を助成した。

【実施期日】 令和5年4月1日～令和6年3月31日

【実施会場】 5市町5コース

【参加者数】 107名

【受取参加料】 原則、各会場とも無料(必要に応じて徴収可)

【支払補助金】 1コース30,000円

(事業規模40,000円以上、市町村負担10,000円以上)

(4) 母集団研修会【助成事業】

【事業内容】 埼玉県スポーツ少年団では、スポーツ少年団活動を支援、協力するため、

1 少年団に 1 育成母集団の結成を目指し、母集団(員)の中核的推進者を
集めて育成研修事業の費用を助成した。

【実施時期】 令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

【実施会場】 18 市町 18 コース

【参加対者】 637 名

【受取参加料】 原則、各会場とも無料(必要に応じて徴収可)

【支払補助金】 1 コース 30,000 円

(事業規模 40,000 円以上、市町村負担 10,000 円以上)

(5) 埼玉県スポーツ少年団登録者研修会

【事業内容】 県内スポーツ少年団登録者を対象とし、スポーツ少年団の理念を再認識
するとともに、指導者の資質の向上を図った。

【実施時期】 令和 6 年 1 月 27 日(土)

【実施会場】 ウェスタ川越

【参加者】 50 名

【受取参加料】 1,500 円

(6) 運動適性テストⅡ普及研修会

【事業内容】 県内市町村本部を代表する指導者向けに運動適性テストⅡ普及のため
の研修会を実施した。

【実施時期】 令和 5 年 10 月 29 日(日)

【実施会場】 吉見町民体育館アリーナ

【参加者】 21 名

【参加料】 無料

(7) アクティブ チャイルド プログラム普及研修会

【事業内容】 県内スポーツ少年団登録者を含むスポーツ指導者にアクティブチャイル
ドプログラムの普及を目的として実施した。

【実施時期】 令和 5 年 11 月 3 日(金・祝)、令和 6 年 2 月 3 日(土)

【実施会場】 蓮田市総合市民体育館、所沢市民体育館

【参加者】 47 名

【参加料】 スポーツ少年団登録者 1,500 円、その他指導者 2,000 円

(8) 研究大会等派遣

ア ジュニアスポーツフォーラム派遣

【事業内容】 今後のジュニアスポーツ及び生涯スポーツの振興、ジュニア期のスポ
ーツとその指導のあり方等についての研究を通して指導者個々の質的向
上を図るとともに、ジュニアスポーツに対する望ましい指導体制を確立
するために、現在ジュニアスポーツの指導に直接従事している登録指導
者を対象に開催される研究大会に指導者を派遣した。

【実施時期】 令和 5 年 6 月 18 日(日)

【実施会場】 JP タワー ホール&カンファレンス (オンライン併用)

【参加者】 10 名

【支払参加料】1,100円(参加者自己負担)

イ 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

【事業内容】関東ブロック各都県のスポーツ少年団登録指導者の相互の連携と資質、指導力の向上を図り、指導活動の促進方法等について協議するとともに、スポーツ少年団活動の推進に資するために開催される研究協議会に関係者を派遣し、今後の少年団活動に役立てることができた。

【実施時期】令和5年11月4日(土)～5日(日)

【実施会場】熊谷スポーツホテル PARKWING

【参加者】42名(うち埼玉県12名)

【支払参加料】13,000円(1人)

※関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会は関東各都県輪番制(8年毎に開催)

5 リーダー養成・研修事業

(1) シニア・リーダースクール派遣

【事業内容】日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、ジュニア・リーダー修了者を対象に単位団及びリーダー会において模範となって活動する団員を派遣した。

【開催期日】令和5年8月9日(水)～12日(土)

【開催会場】静岡県 国立中央青少年交流の家

【参加人数】3名

【支払参加料】16,500円(1人)

(2) ジュニア・リーダースクールの開講

ア ジュニア・リーダースクール(県本部開催)

【事業内容】日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、中学生を対象に単位団において模範となって活動する団員を育てるとともに、資質の向上と団活動の活性化を図った。

【実施時期】令和5年8月4日(金)～6日(日)2泊3日

【実施会場】スポーツ総合センター

【参加者】35名

イ ジュニア・リーダースクール補助事業

【事業内容】日頃スポーツ少年団活動をしている小学生を対象に、将来のジュニア・リーダーを目指す団員を養成した。

【実施期日】令和5年4月1日～令和6年3月31日

【実施会場】3市町3コース

【参加人数】58名

【受取参加料】原則、各会場とも無料(必要に応じて徴収可)

【支払補助金】30,000円(事業規模40,000円以上、市町村負担10,000円以上)

(3) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会派遣

【事業内容】都道府県におけるリーダー会及びリーダー活動の充実・強化及びリーダー会の設置を促進する。

【実施時期】 令和5年11月12日（日）

【実施会場】 オンライン

【参加者】 埼玉県からの参加者なし

(4) 関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会開催

【事業内容】 都県の市区町村リーダー会の充実・強化及びリーダー会の設置を促進する。

【実施期日】 令和5年10月21日（土）～22日（日）

【実施会場】 日立市会瀬青少年の家（主管：茨城県）

【参加者】 埼玉県からの参加なし

(5) 埼玉県スポーツ少年団リーダー会の育成（運営費補助）

活動実績がないため令和5年度は補助金の振り込みなし

6 活動活性化補助事業

【事業内容】 スポーツ少年団における様々な課題解決に向けた事業を展開し、各市町村スポーツ少年団本部の活動が活性化することを目的に実施した。

【実施期日】 令和5年4月1日～令和6年3月31日

【実施会場】 27市町31事業

【参加者数】 12,151名

【支払補助金】 30,000円（事業規模60,000円程度、市町村負担30,000円以上）

7 国内交流大会派遣事業

(1) 全国スポーツ少年団大会

【事業内容】 各都道府県代表の団員及び指導者の参加のもと、集団生活を行い、スポーツ活動、文化活動、野外活動、交歓交流活動等を通して、青少年のこころとからだを育てるとともに、スポーツ少年団活動をより一層促進し、地域における活動の活性化を図るため、本県少年団代表者を派遣する。

【実施期日】 令和5年8月4日（金）～7日（月） ※大型台風により中止

【実施会場】 国立淡路青少年交流の家（兵庫県）

【参加者】 指導者1名、団員2名（埼玉県）予定

【支払参加料】 12,000円（1人）

(2) 関東ブロックスポーツ少年大会

【事業内容】 関東ブロックにおけるスポーツ少年団活動の活発化と交流活動の促進を図ることを目的に開催される野外活動の大会へ団員及び引率指導者を派遣する。

【実施期日】 令和5年9月16日（土）～18日（祝月）

【実施会場】 鹿沼市自然体験交流センター（栃木県）

【参加者】 埼玉県の参加者なし

【支払参加料】 公益財団法人日本スポーツ協会助成金及び都県分担金（各15万円）、開催県（栃木県）の負担金をもって充てる。

(3) 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

【事業内容】軟式野球を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施される大会へ本県代表団を派遣する。

【実施期日】令和5年8月3日(木)～6日(日)

【実施会場】大谷津運動公園野球場(千葉県)他

【参加者】第42回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の勝者2チーム
※埼玉県からの出場なし

【経費】支払参加料：無料 派遣費補助なし

(4)全国スポーツ少年団剣道交流大会

【事業内容】剣道を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する大会へ本県代表を派遣した。

【実施期日】令和6年3月29日(金)～31日(日)

【実施会場】ALSOKぐんまアリーナ(群馬県)

【参加者】団体1チーム 個人(中学生)男女各1名

【経費】受取参加料：無料 派遣費補助：5万円

(5)全国スポーツ少年団バレーボール交流大会

【事業内容】バレーボールを通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する大会へ本県の代表団を派遣した。

【実施期日】令和6年3月28日(木)～31日(日)

【実施会場】セキスイハイムスーパーアリーナ 他(宮城県)

【参加者】女子1チーム

【経費】受取参加料：無料 派遣費補助：5万円

(6)関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

【事業内容】団員に競技の喜びを経験する機会を提供するとともに、関東地区間の団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯感を高めることをねらいとして開催される大会へ本県の代表団を派遣した。

【実施期日】令和5年7月16日(日)～7月30日(日)

【実施会場】東京都

総合開会式：エスフォルタアリーナ(八王子市7月28日(金))

軟式野球：一本杉球場(多摩市)、野津田球場(町田市)

7月16日(日)～18日(月祝)

バレーボール：水元総合スポーツセンター(葛飾区)

7月29日(土)～30日(日)

バスケットボール：エスフォルタアリーナ(八王子市)

7月29日(土)～30日(日)

バドミントン：エスフォルタアリーナ(八王子市)

7月29日(土)～30日(日)

空手道：東京武道館（足立区）

7月29日（土）～30日（日）

【対象種目】軟式野球・バレーボール・バスケットボール・バドミントン・空手道
5種目6団

※バスケットボールは、男女各1団

※バドミントン、空手道は県内選抜

【経費】支払参加料：無料 派遣費補助：5万円（1団）

8 埼玉県スポーツ少年団表彰

(1) 埼玉県スポーツ少年団表彰

【事業内容】埼玉県及び県内市町村においてスポーツ少年団の育成に尽力している者で、登録指導者として10年以上にわたり活動し、スポーツ少年団の育成に特に顕著な功績があり、今後も引き続き活動が期待できる者を表彰し、指導者の活動意欲を高揚するとともに埼玉県スポーツ少年団の充実、発展を図った。

【受賞者】49市町86名

南部：10市 33名 西部：17市町 23名

北部：10市町 12名 東部：12市町 18名

【実施期日】令和6年2月18日（土）

【実施会場】ウェスタ川越

9 日本スポーツ少年団顕彰

【受賞者】団体（本部）6市町 指導者 10名

10 スポーツ少年団「スポーツともだち仲間たち」の発刊

【事業内容】県スポーツ少年団で行った事業内容や調査結果等を集約し、日頃のスポーツ活動等への理解を深め、今後の活動に役立てるために情報提供を行った。

【発刊時期】5月、9月、1月

【配布対象】市町村63本部及び1,383団（令和5年度登録団数）

公益4 スポーツ総合センター運営事業

1 スポーツ総合センターの管理、運営

(1) 施設利用に係る受付業務

体育施設、研修施設、宿泊施設の利用について、年間の利用調整、利用申請の受付、施設使用料の徴収などを行った。

開所時間 午前9時00分から午後9時00分まで

受付業務 午前8時30分から午後9時30分まで（常時2名以上配置）

宿直業務 午後9時30分から翌朝9時30分まで（常時1名以上配置）

(2) 施設設備の維持管理

建物や設備の維持管理を行うとともに、業務委託契約に係る業務進捗状況等の確認を行った。

日常業務 清掃業務 午前7時から午後4時まで。

設備業務 午前7時から午後9時まで。

定期業務 各月の休所日における施設管理・清掃業務

(3) トレーニング場利用者講習会（月2回）

トレーニング場を個人利用するための講習会を行った。

参考 施設利用者数

施設	利用者数	施設	利用者数
体育館	36,581名	講堂研修室	43,605名
多目的室	16,369名	その他	3,541名
体育実習室	9,789名	宿泊施設	7,225名
トレーニング場	11,954名	計	131,972名
テニスコート	2,908名	対前年比	+7,639名

収益 1 大宮公園スポーツランド(飛行塔)の管理運営事業

大宮公園スポーツランド管理運営を実施した。

月	利用者数	本会収益 (15%)
4月	5,695名	735,690円
5月	5,279名	
6月	2,241名	
7月	992名	294,480円
8月	898名	
9月	2,785名	
10月	3,699名	723,030円
11月	4,780名	
12月	3,515名	
1月	5,651名	768,825円
2月	3,547名	
3月	4,340名	
合計	43,422名	2,522,025円

収益 2 埼玉アイスアリーナ管理運営事業

本会が事業主体となって、さいたま水上公園内にアイスアリーナを整備し、運営を付した施設の貸出しを行うこと、公園の機能の増進に資することにより、氷上スポーツの普及、振興と競技力の向上を図った。

(単位：人)

入場者 ＼ 月	一般	校外	団体	定期	教室	クラブ	観覧等	貸切	合計
4月	3,017	0	828	370	1,072	2,948	335	3,537	12,107
5月	2,421	0	654	191	1,014	2,423	219	3,971	10,892
6月	2,324	55	519	190	834	2,062	250	4,143	10,377
7月	3,144	115	748	168	1,059	2,797	300	3,810	12,141
8月	2,833	39	803	162	824	2,906	302	3,696	11,565
9月	2,441	37	625	88	1,041	2,965	190	4,617	12,004
10月	2,110	219	494	91	856	2,627	183	4,505	11,085
11月	3,881	285	674	76	913	2,521	219	3,797	12,366
12月	3,077	49	1,219	62	658	2,730	278	5,161	13,234
1月	5,166	30	2,541	93	1,057	2,595	449	3,777	15,708
2月	4,095	9	2,085	79	890	2,337	376	2,856	12,727
3月	4,025	13	1,240	159	921	2,832	336	3,193	12,719
合計	38,534	851	12,429	1,729	11,139	31,743	3,437	47,063	146,925

法人 県スポーツ協会運営事業

【諸会議】

1 評議員会

定時	令和5年5月29日(月)	THE MARK GRAND HOTEL
臨時	令和6年3月26日(火)	THE MARK GRAND HOTEL

2 理事会

定例第1回	令和5年5月9日(火)	スポーツ総合センター (オンライン併用)
臨時理事会	令和5年5月29日(月)	THE MARK GRAND HOTEL
定例第2回	令和5年9月4日(火)	スポーツ総合センター (オンライン併用)
定例第3回	令和5年12月13日(水)	スポーツ総合センター (オンライン併用)
定例第4回	令和6年3月5日(火)	スポーツ総合センター (オンライン併用)

3 加盟団体協議会

第1回	令和5年5月12日(金)	スポーツ総合センター
第2回	令和6年3月12日(火)	スポーツ総合センター

4 市町村連絡会議 (I—3に掲載)

5 専門委員会

(1) 総務委員会

第1回	令和5年5月2日(火)	スポーツ総合センター
第2回	令和5年8月26日(月)	スポーツ総合センター
第3回	令和5年12月9日(月)	スポーツ総合センター
第4回	令和6年3月3日(月)	スポーツ総合センター

(2) 選手強化対策委員会

ア 強化対策委員会

第1回	令和5年4月26日(水)	スポーツ総合センター
第2回	令和6年1月16日(火)	スポーツ総合センター

イ 常任委員会

書面	令和5年8月10日(火)	
対面	令和5年9月6日(水)	スポーツ総合センター
書面	令和6年1月5日(金)	

ウ 競技力向上事業関係諸会議

- ・ 競技団体理事長・経理担当者合同会議
令和5年5月10日(水) オンライン
- ・ 特別国民体育大会埼玉県選手団監督選手選考会議・監督会議
令和5年9月6日(水) オンライン

・競技別強化対策会議

令和5年11月24日(金)、11月27、28日 スポーツ総合センター

・彩の国アスリート育成推進会議

第1回 令和5年5月19日(火) スポーツ総合センター・オンライン

第2回 令和5年10月5日(木) 書面

第3回 令和5年10月24日(水) オンライン

(3) 普及委員会

第1回 令和6年1月23日(火) スポーツ総合センター

(4) スポーツ科学委員会

第1回 令和5年6月20日(火) スポーツ総合センター・オンライン

第2回 令和6年1月11日(木) レイボックホール・オンライン

6 諮問委員会

(1) 倫理委員会

第1回 令和5年5月1日(月) スポーツ総合センター

(2) 顕彰委員会

第1回 令和5年5月9日(火) スポーツ総合センター

第2回 令和6年1月16日(火) スポーツ総合センター

(3) 普及委員会

第1回 令和6年1月23日(火) スポーツ総合センター

(4) スポーツ科学委員会

第1回 令和5年6月20日(火) スポーツ総合センター

第2回 令和6年1月11日(木) スポーツ総合センター(オンライン併用)

7 100周年特別委員会

第5回 令和5年4月25日(火) スポーツ総合センター

第6回 令和5年7月11日(火) スポーツ総合センター

第7回 令和5年10月2日(月) スポーツ総合センター

第8回 令和6年2月19日(月) スポーツ総合センター

【事業部会】

第2回 令和5年2月19日(月) スポーツ総合センター

【記念式典部会】

第2回 令和5年2月19日(月) スポーツ総合センター

【記念誌部会】

第2回 令和5年8月31日(木) スポーツ総合センター

第3回 令和6年1月18日(木) スポーツ総合センター

8 スポーツ少年団

(1) 本部員会

- 第1回 令和5年5月20日(土) スポーツ総合センター
- 第2回 令和5年8月4日(金) スポーツ総合センター(オンライン併用)
- 第3回 令和5年11月10日(金) オンライン開催
- 第4回 令和6年2月18日(日) ウェスタ川越

(2) 代議員会

令和5年5月20日(土) スポーツ総合センター

(3) ブロック本部長会議

- 東部：令和6年1月20日(土) 羽生市民プラザ
- 西部：令和6年1月21日(日) 川越市南公民館
- 南部：令和5年11月11日(土) 上尾市文化センター
- 北部：令和5年12月9日(土) 長瀬町中央公民館

(4) スポーツ少年団専門委員会等(オンライン併用)

- ・指導者・リーダー育成委員会 10回
- ・企画広報委員会 12回
- ・活動交流委員会 11回
- ・指導者協議会評議員会 1回
- ・指導者協議会運営委員会 7回
- ・倫理委員会 0回
- ・種目別担当者会議 2回
- ・ジュニア・リーダースクール 1回
- ・埼玉県スポーツ少年団大会 4回

(5) 市町村スポーツ少年団事務担当者会議

令和5年4月7日(金) スポーツ総合センター

9 埼玉県スポーツ指導者協議会

理事会

第1回 令和5年8月8日(火)